

— “感動”が人をつくる —
Culture
Niigata



NEXT STAGE
— 情熱の行方 —
ヴァイオリニスト 鍵富弦太郎

親子で楽しもう
新潟イベント情報

— シリーズ —
URAKATA 

Culture Niigata 2019.03-05 vol.98
【平成31年2月25日発行】発行・編集／(公財)新潟県文化振興財団 編集・制作／(株)関東朝日広告社 デザイン／磯野和也 印刷／昭栄印刷(株)

便利をもっと身近に。

JAネットバンク



©ちよリス

耕そう、大地と地域の未来。

 JAバンク新潟県信連

NEXT STAGE

—情熱の行方—

ヴァイオリニスト
鍵富弦太郎 Gentaro Kagitomi

これからの舞台芸術を担う、新潟ゆかりのアーティストを紹介する「NEXT STAGE」。今回は新潟市出身のヴァイオリニスト・鍵富弦太郎さん。幼少時からクラシック界で注目を集め、第一線で活躍している鍵富さんにこれまでの歩み、そしてこれからの思いを聞いた。

どんな演奏においても その一瞬で自分の思いすべてを発信したい

—名前に「弦」という字が入っています。まさにヴァイオリニストになるために生まれてこられたようですね。

取材のたびに名前を言われるので恥ずかしいのですが(笑)、実は弦楽器の「弦」ではなくて弓の「弦(つる)」の意味の方で、力強くしなやかに育ってほしいと思って両親がつけてくれました。

—そうだったんですね。失礼しました。でも、ヴァイオリンを5歳から習い始めたとのこと。きっかけは？

新潟出身のヴァイオリニスト、奥村和雄先生と出会った父が息子にもヴァイオリンをやらせたいと思い、私に勧めてくれたみたいです。小さかったので全く憶えていないのですが、自分でもやりたいと言って習い始め、当時は枕元にいつもヴァイオリンを置いて寝ていたらしいです。

—ヴァイオリンのお稽古は楽しかったですか？

最初はつらかったです。でも、出来ないのが悔しくて。その悔しさに突き動かされてひたすら練習していた気がします。ただ、音楽そのものは子どもの頃から大好きで、曲が流れていると勝手に踊ったりしていたそうです。

—新潟市内の小中学校を卒業し、高校で東京の桐朋学園へ進学されました。

小学6年の時に新潟市民芸術文化会館のこけら落とし公演にソリストとして出演させてもらったり、小学3年からは東京で桐朋学園の先生にヴァイオリンを習っていたこともあって、漠然と音楽で生きていきたいと思い始めていました。それで全国各地から音楽家の卵が集まってくる桐朋学園に行こうと。実際、音楽を学ぶ環境としては最適で、いい意味で同級生が競い合っていて、刺激的で濃厚な3年間を過ごすことができました。

自分の強みは 何なのかを考えることが モチベーションになっていた

—高校在学中、日本音楽コンクールヴァイオリン部門で第1位を最年少で受賞。賞はご自身にとってどんな意味があったと思いますか？

あのコンクールは、とにかく出て自分の力を試そうという気持ちで挑みました。1位になったことでCDデビューもできて、他の楽器で1位を獲得した人たちと組んで演奏させ



ウクライナ オデッサにて



オーストラリア ザルツブルクにて

てもらったりできました。何より紀尾井ホール(東京・四谷)や新潟市民芸術文化会館など大きなホールで記念ソロリサイタルを開くことができたのも素晴らしい経験です。コンクールという加点方式で評価されるのは音楽において自然なことではないと思っていますし、精神的なストレスも大きいので、できれば避けたいものですが、限られた時間内に課題の楽曲を十分理解して、自分のものにした上で演奏するという力は、コンクールを経験したからこそ身についたと思っています。それが今、プロのヴァイオリニストとして活動する上で非常に重要なものになっているのは確かです。だから、あまり特別なものではないと思いつつも、やはり自分にとっては大きいことだったような気がします。

—桐朋学園大学ソリストコース在学中も東京交響楽団や新日本フィルハーモニーとも共演されていますが、この頃はどんなお気持ちで演奏活動に取り組んでおられましたか？

オーケストラでも室内楽でもソロでも、基本的にいつも思っていることは同じで、どれだけより良い演奏を聴かせることができるかという一点に尽きます。実はこれは子どもの頃からずっと変わっていません。小学生時代からどうすれば自分の色を出せるのか、自分の強みとは何なのかを常に考えてきました。それを考えることが結局、モチベーションになって日々の練習や演奏を続けることが出来たんだと思います。

—では、ご自身のこれまでのヴァイオリニストとしての活動の中で、大きなターニングポイントになったような出来事があれば、教えてください。

昔、フランスを訪れた時のこと。あるラジオ局の狭いスタジオで、お客様とのすざい至近距離で演奏する機会がありました。何の事前打ち合わせもなく、突然「はい、どうぞ。弾いてください」と言われて。お客様もナッツを食べていたり、中にはほろ酔い気分のご夫婦もいたりして。でも、そこでヴァイオリンを弾きながら「ああ、演奏って何も特別なものではないんだな」と思ったんですよね。いつもは何週間も前から会場でも準備を進めてもらって演奏会に臨んでいるので、私自身がいつしか演奏そのものを特別なものとしてとらえるようになっていました。でも、本来、音楽の演奏というのは生活の中にとけこんでいるものなんだと気づかされ、肩の力が一気に抜けたんです。演奏終了後に高齢の女性が僕の近くに寄ってきて「すごく良かったよ」と言ってくれて。何だかちょっと救われた気分にもなれました。

—なるほど。気負いがなくなって演奏への向き合い方も何か変化されましたか？

すぐには変わりませんが、少なくとも追われてやるのではなく、もっと純粋に楽しんで演奏したいなという気持ちが強くなりましたね。特に最近になって、いろんな人に会う機会が増えたせいか、「ああ、こんな弾き方もいいな」「今度はあんなふうには弾いてみようかな」などと思うようになって、さらに演奏が楽しくなっています。

心のひだが音色に出る だからこそ一瞬に すべてをかけて演奏する

—演奏が楽しいって言えるのって良いですね。そんな鍵富さんがプロの奏者として大切にしていることは何でしょう？

気負いを無くすことと、気を抜くことは全く別物。確かに気負いは少なくなっていますが、どんなに余裕がなくても、また、どんなシチュエーションでも、人前で演奏する時はその瞬間に集中し、自分のすべてを発信するような演奏をしたいと思っています。例えば、「これが終わったら、明日休みだ」なんてことを考えて演奏するようなことだけは絶対にしないし、やってはいけないことだと思っています。それと音質、音色にはこだわっていますね。



—5歳から常に自身のそばにあるヴァイオリンという楽器に感じている魅力もここでうかがいたいのですが。

奏者によって全然音色が違う。弦楽器の中でもヴァイオリンが一番、より奏者の個性が出る楽器ではないでしょうか。ちょっと歌に似ていて、その人の心の細部のひだが奏でる音に見えるというか。特にそういう繊細なところが好きですね。

—今後の目標、夢についても教えてください。

ソロ演奏をメインに活動をしてきて、室内楽もやるようになって。そして、数年前からオーケストラにも参加させてもらうようになりました。どの演奏形態であれ、1回1回、自分がどう思って、どう演奏するか、何を伝えたいかということに真剣に向き合って演奏しています。結局、それが次につながっていくことにもなりますから。

—ご自身のソロリサイタルではクラシックを楽しんでもらうため、どのような工夫をされていますか？

実は、自分が企画できるリサイタルではあえて難しい曲を弾くなど、私自身のチャレンジの場にさせていただいています。なんか立ち止まるのが怖いんです。だから、無理を承知でリスクを負うような曲を選んで弾くようにしています。そうすることでまた新しい世界が開けていくと思うので。とはいえ、お客様はお金を払って聴きにきてくださっているわけですから、もちろん、少しでも楽しんでいただけるようにということも心がけています。例えば、作曲家がどんな状況の時にどんな思いでその曲を書いたかとか、その曲に対する自分の個人的な思い出を話したりとか、よりクラシックを身近に感じていただける工夫をしています。

—では、最後に7月に柏崎市文化会館アルフォーレで開催されるコンサートについてのお話をお願いできますでしょうか。

7月のコンサートは新潟出身の奥村愛さんを含む4人のヴァイオリニストで行います。どんな曲を演奏するかはこれから決めるところなのですが、愛さんはもちろん、つながりの深い仲間が集まって開催するので、温かな空気感のある演奏会になると思います。ぜひ聴きにきて下さい。

取材協力:学校法人 桐朋学園、(株)コンサートサービス 事業部 コンサートイマジン

Question & Answer

Q. 休日の過ごし方は？

仕事で出かけていることが多いので、休日は溜まった事務的な作業をまとめてこなし、その後、飲みに行ったりしています。

Q. ハマっているものは？

フットサルですね。読響のフットサルチームに入れてもらい、月に何日か集まって練習しています。演奏家は慢性的に運動不足なのでこうして意識的に運動しないと。ただ、フットサルの後はみんなで結局、焼き肉などを食べに行くのでブライゼロかもですが(笑)。

Q. 好きな絵画は？

イヴァン・アイヴァゾフスキーの「第九の波濤」という絵画です。サンクトペテルブルクへ行った際、ロシア美術館で観てあまりに感動し、初めてレプリカを買いました。

Q. ご自身の性格を自己分析すると？

集中する時はガーッと集中しますが、気を抜くときは信じられないほど抜いています。オンオフをしっかりさせたい性格なんだと思います。血液型はB型です。



鍵富弦太郎

1986年新潟生まれ。5歳からヴァイオリンを始める。12歳で新潟市民芸術文化会館開館記念のガラコンサートのソリストとして東京交響楽団と共演。16歳から桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)に進学。その年、小澤征爾氏の指名でソリストとして共演している。幼少より様々なコンクールを制覇し、17歳の時に、第72回日本音楽コンクール1位、レウカディア賞、鷲見賞、黒柳賞受賞。高校在学中にCD「ヴィヴァーチェ」「歌い出した鳥」をリリース。ドミトリー・キタエンコ、岩城宏之、飯森泰次郎、高関健氏らの指揮で、東京交響楽団を始め、国内著名オーケストラと共演。ロシアのサンクトペテルブルグ音楽祭に招聘されたり、国際交流基金よりカナダ5都市に派遣されるなど国際的にも活躍。現在は室内楽に重点を置きながら、テルミンや楽器など、様々な楽器との共演にも意欲的に取り組んでいる。

公演情報

コンサート

託児あり 4/27(土) 発売開始

奥村愛 ヴァイオリン・カルテット

7/21(日) 14:00 柏崎市文化会館 アルフォーレ

出演:奥村愛、鍵富弦太郎、西江辰郎(新日本フィルコンサートマスター)、大宮臨太郎(NHK交響楽団第1ヴァイオリン次席奏者)、山田武彦(ピアノ)
曲目: ヴィヴァルディ/4つのヴァイオリンのための協奏曲、ガーシュウィン(ハイフェッツ編) / 「ポーギーとベス」より、サラサーテ/ナヴァラ、モンティ/チャルダッシュ、ピアソラ/リベルタンゴ 他

料金 全席自由 一般 2,000円 中学生以下 500円(当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 柏崎市文化会館 アルフォーレ 0257-21-0010
お問合せ 新潟県文化振興財団 025-228-3577(平日8:30~17:15)



奥村愛



鍵富弦太郎



西江辰郎



大宮臨太郎

新潟イベント情報

県内で行う様々な催物をお届けします。会場に足を踏み入れると、そこは別世界。是非、体感してみてください。

「新潟イベント情報」への掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。

次号vol.99は、5月下旬発行予定です。4/3(水)までに、6月~8月の催物情報をお寄せください。

(公財)新潟県文化振興財団 事業課「カルチャーにいがた」係

TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818 E-mail jigyou@niigata-bunka.jp

※【助成事業】は(公財)新潟県文化振興財団助成事業です。

※未就学児は入場不可の場合があります。☺託児ありの公演には託児室を設置します。(要予約)

※主催者等の都合により内容が変更になる場合があります。詳細については、各問合せ先へご確認ください。

ホームページ「新潟文化物語」にも各種催物情報を掲載しています。掲載をご希望の方はホームページ上から登録をお願いします。

新潟文化物語 検索

分野別アイコン

コンサート

ミュージカル・演劇・舞踊

古典・伝統

美術展・写真展

イベントなど

コンサート

ついたちはガチバッハ

3/1(金)・7/1(月)・11/1(金) 各14:00

りゅーとびあ スタジオA

情感あふれるバッハのフルートソナタをコンプリートしようと誓った市橋・笠原デュオによるガチでバッハをやるついたち。3/1はフルートの本間千鶴子、11/1はヴァイオリンの佐々木友子も参加し、第2回は助演なしのガチ中のガチでお届けします。皆さまどうぞ満喫ください。

出演:市橋靖子(フルート)
笠原恒則(チェンバロ)
本間千鶴子(フルート:3/1)
佐々木友子(ヴァイオリン:11/1)



料金 全席自由 1,000円 3回通し券 2,000円(2/28まで販売)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 市橋靖子&笠原恒則 090-2932-0052(笠原)

イベントなど

託児あり

夏井いつき句会ライブ

3/6(水) 18:30

糸魚川市民会館

人気番組「プレバト!!」でお馴染みの夏井いつき先生が糸魚川にやってきます!!夏井先生の解説を生で聴ける貴重な機会です。夏井先生と一緒に俳句を楽しむ学びましょう。皆さまお誘いあわせのうえ、糸魚川へ足をお運びください。

出演:夏井いつき



夏井いつき

料金 全席指定 1,500円(当日500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 糸魚川市民会館 025-552-5900

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

無名塾公演2019 野鴨

3/3(日) 14:00

新潟市北区文化会館

無名塾のメンバーでお贈りする古典演劇「野鴨」。「先の見えない、グチャグチャの、命がけの試合が面白い。そんな舞台を目指している。」と語る演出家の笹部氏。理想や真実の追求に対して疑惑の影を投げかける、人間心理の奥底を探る旅に出かけませんか。

作:ヘンリック・イブセン
翻訳:楠山正雄
演出:台本:笹部博司
出演:渡辺梓、渡邊翔、高橋真悠 他



料金 全席指定 一般 2,000円 高校生以下 1,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 新潟市北区文化会館 025-388-6900

【主催】新潟県、新潟市北区文化会館、平成30年度舞台芸術への県民参加推進プロジェクト実行委員会

古典・伝統

はじめての人形浄瑠璃「ひとみ座乙女文楽」

3/10(日) 14:00

魚沼市小出郷文化会館 小ホール

文楽の豊かな表現力を女性のひとり違いによって可能にした人形芝居をお楽しみください。
出演:ひとみ座乙女文楽
干満歌舞伎保存会(特別出演)
演目:「やまびこ三番叟」(干満歌舞伎保存会)
「二人三番叟」
「義経千本桜」道行初音旅 ※生演奏



料金 全席自由 一般 3,000円 学生・65歳以上 1,500円(当日各500円増)

お問合せ 魚沼市小出郷文化会館 025-792-8811

【主催】新潟県、魚沼市小出郷文化会館、平成30年度舞台芸術への県民参加推進プロジェクト実行委員会

コンサート 託児あり 助成事業

～家族で楽しむポップスからクラシック～ 行ってみよう!!アルカディア 春の音楽会

3/10(日) 14:00 見附市文化ホール アルカディア
子どもから大人まで楽しめるクラシック音楽会!アルカディアフレンズアンサンブルによる演奏と坪内さん、鈴木さんの美しい歌声をご家族揃ってお楽しみください!

出演:アルカディアフレンズアンサンブル
【佐々木友子(ヴァイオリン)、加野晶子(ヴィオラ)、片野大輔(チェロ)、星野勝彦(コントラバス)、倉澤桃子(パーカッション)、金子陽子(ピアノ)】
ゲスト:坪内麗音(ソプラノ)、鈴木至門(バトーン)
曲目:サウンドオブミュージックメドレー、デンツァ／フニクリフニクラ、アナと雪の女王より「レット・イット・ゴー」、ヴェルディ／乾杯の歌 他



料金 全席自由 500円(当日200円増)
※3歳未満の入場はご遠慮ください。
主催 見附市文化ホール アルカディア 0258-63-5321

コンサート

新潟リング・アンサンブル 第19回定期演奏会 Niigata Ring Ensemble SP-RING CONCERT

3/17(日) 14:00 だいしホール
新潟交響楽団のメンバーが中心となって結成した新潟リング・アンサンブル。年に1度の定期公演も今回で19回目を迎えます。毎年多彩なプログラムと美しい響きで皆さまに音楽を演奏する楽しさ、聴く楽しさをお届けし、大好評を博しています。皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひお出かけください。

曲目:シュトラウス／歌劇「ジプシー男爵」序曲、ウェーバー／クラリネット協奏曲 第1番、グリーグ／ホルベルグ組曲、モーツァルト／オーボエ五重奏曲 ハ短調、グレン・ミラー特集



料金 全席自由 入場無料(要整理券)
主催 新潟リング・アンサンブル 090-2986-5590(越野)

古典・伝統

響 sato-oto 太鼓フェスティバル in seiro vol.9

3/24(日) 聖籠町文化会館
平成15年から隔年で開催され、大好評を博している「響sato-oto」の太鼓フェスティバル。9回目となる今年は、ゲストに太鼓芸能集団 鼓童、和楽器ユニット音魂を迎え、響sato-otoの魅力たっぷりのステージをお届けします。どこにも負けない「楽しさ」と「笑顔」で皆さまをお待ちしております。



出演:聖籠太鼓「響sato-oto」
ゲスト:山口幹文、見留知弘(太鼓芸能集団 鼓童)、和楽器ユニット 音魂

料金 全席自由 一般 1,500円 高校生以下 500円(当日各500円増)
お問合せ 聖籠町町民会館 0254-27-2121

コンサート

東京交響楽団員による チェロ・コントラバス デュオコンサート ～低音楽器が歌うクラシックの名曲から日本の歌曲まで～

3/31(日) 11:00 越後森林館
東京交響楽団員、黄原享司(チェロ)と安田修平(コントラバス)によるデュオコンサートです。低音楽器2本による滅多にない組み合わせで、バッハの名曲から日本の歌曲まで楽しんでいただけます。根曲がり百年杉の巨木に囲まれた珠玉の越後森林館ホール(西区曾和)で、低音楽器の響きを存分に堪能ください。



出演:黄原亮司(チェロ)、安田修平(コントラバス)
曲目:バッハ／G線上のアリア、モーツァルト／ソナタ変ロ短調、ロッシーニ／チェロとコントラバスのための二重奏曲、日本の歌 他

料金 全席自由 2,500円
※未就学児の入場はご遠慮ください。
主催 音楽を楽しむ会 025-387-5647

ミュージカル・演劇・舞踊 託児あり

東宝&りゅーとびあ共同製作 『十二番目の天使』

4/6(土) 18:30・4/7(日) 13:30 りゅーとびあ 劇場
全世界で著作が3600万部以上読まれている作家オグ・マンディーノの代表作、「十二番目の天使」。全米ベストセラー小説であり世界中で愛されている感動作の、待望の初舞台化が実現しました。大切な人達との出逢いが生きる勇気を与えてくれる、切なくも優しい心温まる物語を豪華キャスト陣でお送りします。
原作:オグ・マンディーノ
台本:笹部博司 演出:鶴山仁
出演:井上芳雄、栗山千明、六角精児、木野花、辻萬長 他



料金 全席指定 一般 8,000円 高校生以下 4,000円 U25 2,500円
※未就学児の入場はご遠慮ください。
お問合せ りゅーとびあチケット専用ダイヤル 025-224-5521

コンサート 託児あり

ファーストアルバムリリース記念 鈴木愛美 ソプラノリサイタル

**4/20(土) 14:00 長岡リリックホール
コンサートホール**
「今の等身大の声と音楽を残したい。」との想いから、今春初のCDアルバムのリリースが実現することを記念して、長岡市出身の新進気鋭ソプラノ歌手、鈴木愛美さんのソプラノリサイタルを開催します!ご期待ください。
出演:鈴木愛美(ソプラノ)、山岸茂人(ピアノ)
曲目:ヘンデル／涙の流れるままに 山田耕筰／からたちの花 トビュッシー／星の夜 他



料金 全席指定 2,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。
主催 (公財)長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7715

古典・伝統 3/1(金) 発売開始

鼓童 佐渡宿根木公演2019

**4/27(土) 14:30、4/28(日) 11:00/14:30、4/29(月・祝) 11:00/14:30
5/2(木・休) 14:30、5/3(金・祝) 11:00/14:30、5/4(土・祝) 11:00/14:30
5/5(日・祝) 11:00 宿根木公会堂**



料金 全席自由 一般 3,500円 小学生以下 1,500円(当日各300円増)
※3歳以下無料(ただし、座席利用時は小学生以下料金)
主催 (公財)鼓童文化財団 0259-81-4100

コンサート

笛田博昭テノールリサイタル La Voce D'Oro

5/3(金・祝) 14:00 新潟市音楽文化会館
新潟県出身、本場イタリアも認めた実力派オペラ歌手、笛田博昭のリサイタル。見事な響き、テクニックに裏付けされた輝かしい声をぜひ会場でお楽しみください。
出演:笛田博昭(テノール)、五十嵐麻利江(ピアノ)
曲目:ブッチェーニ／歌劇トゥーランドットより「誰も寝てはならぬ」、カプア／オーソレ ミオ、クルティス／帰れソレントへ、ロータ／ゴッドファーザー～愛のテーマ～ 他



料金 全席自由 一般 3,000円 高校生以下 2,000円(当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。
主催 笛田博昭リサイタル実行委員会 025-287-7791

コンサート 3/3(日) 発売開始

北海道歌旅座 昭和のうたコンサート 一緒に歌おうヒットパレード

5/1(水・祝) 14:00 南魚沼市民会館 多目的ホール
全国各地に音楽の感動をお届けしている『北海道歌旅座』がついに、南魚沼にやってくる!昭和流行歌の数々を、一緒に歌おうヒットパレード!!
出演:JUNKO(歌・ピアノ)、NARIKO(ヴァイオリン)、ザ・サーモンズ(コーラス・ダンス・サポート楽器)
曲目:ラブ・イズ・オーバー、お久しぶりね、真っ赤な太陽、テネシーワルツ、イヨマンテの夜、明日があるさ 他



料金 全席自由 2,000円(当日500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。
主催 南魚沼市民会館 025-773-5500

コンサート

栗コーダーカルテット& ビューティフルハミングバードコンサート

5/19(日) 15:00 新発田市民文化会館
「ピタゴラスイッチ」でお馴染みの楽しい音色とあたたかく心にしみる歌世界。ご家族揃ってお楽しみください。
出演:栗コーダーカルテット、ビューティフルハミングバードコンサート



料金 全席指定 5,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。
主催 下越音楽鑑賞協会 0254-22-1404

古典・伝統 託児あり 4/15(月) 発売開始

松竹大歌舞伎

7/17(水) 昼の部 13:30 夜の部 18:00 新潟県民会館 大ホール
夏の大人気「松竹大歌舞伎」。今年は高麗屋、松本幸四郎改め二代目松本白鶴と市川染五郎改め十代目松本幸四郎の親子2代の襲名披露公演。心に染みる家族の物語「引窓」、男と女の深い因果の物語「かさね」をお見逃しなく!!
出演:松本白鶴、松本幸四郎、市川猿之助 他
演目:一、襲名披露「口上」
二、双蝶々曲輪日記「引窓」
三、色彩間豆「かさね」



料金 全席指定 特等席 6,000円 一等席 4,500円 二等席 2,500円
歌舞伎初めて席 1,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
お問合せ 新潟県民会館 025-228-4481

TOPICS

**松本幸四郎文から新潟の皆様へ
メッセージ**
2018年1月歌舞伎座におきまして、父、私、倅と3代で同時襲名をさせていただきました。父は、祖父の名、松本白鶴を二代目として、私は父の名、松本幸四郎を十代目として、倅は私の名、市川染五郎を八代目としてご披露いたしました。多くの諸先輩に出演いただき、多くのお客様に見守られながらの我々の第一歩は、この上ない幸せでした。本年は、7月新潟県民会館にて父と御披露をさせていただきます。私は、襲名して初めて父と時代物で共演します。義太夫により展開されてゆく時代物の中でもとても人情味豊かなお芝居「引窓」を上演します。父は、濡髪長五郎、私は南与兵衛を勤めます。母と子の情愛。男同士の絆、夫婦の絆。悲劇ではあるものの、人の心を温かくする歌舞伎の傑作です。皆様に歌舞伎の魅力をお伝えできるよう勤めたいと思っております。そして、父と私の第一歩を見届けていただく“生き証人”に、お一人でも多くの方がなっただることを願っております。



松本幸四郎

富岡惣一郎「雪国」

3/17(日)まで 南魚沼市トミオカホワイト美術館
10:00~17:00

(入館は16:30まで) 水曜休館
雪国の過酷な冬、暗く重い思い出の連続の中に時折現れる「雪の純白の世界—この世のものとも思えぬ純白の雪の状況」が富岡惣一郎の作品世界を形作りました。富岡は、雪国に存在する白と黒の色、形、量、空間の無限の変化を象徴的に表現しました。本展では白と黒で表現した抽象的な雪国や季節の変化を淡い色で象徴的に表した作品を展示しています。富岡惣一郎の白の世界をどうぞお楽しみください。



「羊蹄山雪景」1974年/F50

料 金	一般 500円 小・中・高校生 250円
主 催 お問合せ	南魚沼市トミオカホワイト美術館 025-775-3646

「ひな人形とからくり」展

2/23(土)~3/17(日) 新潟市文化財 旧小澤家住宅
9:30~17:00 月曜、祝日の翌日休館

上巳節にあわせ、小澤家をはじめ、近隣に伝わるとされるひな人形や、からくり人形など、日本の伝統的な人形文化の一端をご紹介します。ひとくちにひな人形といっても、その形は時代によってさまざまなもの。ぜひ、ことなる形を見比べて楽しんでください。



関連イベント	等と尺八の演奏会 2/23(土) からくり人形の実演 3/2(土)、3/3(日)
料 金	一般 200円 小・中学生 100円 ※土・日・祝日は小・中学生無料
主 催 お問合せ	新潟市文化財 旧小澤家住宅 025-222-0300

越後上越 謙信公と春日山城展
~戦国時代と今をつなぐもの~

3/31(日)まで 上越市埋蔵文化財センター
9:00~17:00

(入館は16:30まで) 火曜休館(祝日の場合はその翌日)
戦国の名将・上杉謙信公やその居城・春日山城を中心に、戦国時代の歴史をお届けします。春日山城の全容が分かるジオラマの展示のほか、謙信公の生涯をタッチパネル等で詳しく紹介します。上越でしか味わえない歴史エンターテインメントをぜひご堪能ください。



関連イベント
謙信公祭 VR体験コーナー
毎年8月に開催している謙信公祭で行われている川中島合戦の再現の様子をVR(バーチャルリアリティ)で視聴できます。要受付(10:00~12:00/13:00~15:00)所要時間約2分 体験料無料

料 金	入場無料
主 催 お問合せ	謙信公の郷振興協議会事務局(上越市観光振興課) 025-526-5111

コレクション展Ⅲ 美術の偶然!

4/14(日)まで 新潟市美術館
9:30~18:00 (券売は17:30まで)

月曜(祝日の場合はその翌日)、4/9~12休館
「偶然」が生み出す、思いもよらない表現。作者による計算づくの美術作品とは違った魅力が、こうした作品にはあります。絵具を紙などではさむことで、偶発的な形が現れることを利用した技法・デカルコマニーなど、新潟市美術館のコレクションからその魅力を探ります。作家たちが作品に取り入れた美術の「偶然」に触れてみましょう。



内海信彦《INNERSCAPE 1993-MANIFESTATION》1993年

料 金	一般 200円 高校・大学生 150円 小・中学生 100円 ※土・日・祝日は小・中学生無料
主 催 お問合せ	新潟市美術館 025-223-1622

邪馬台国の時代6
鉄 — 弥生・古墳時代の鉄器 —

4/14(日)まで 史跡古津八幡山 弥生の丘展示館
10:00~17:00 月曜、3/22休館 ただし、3/4は開館

古津八幡山遺跡から見つかっている鉄器は3点だけですが、出土した石器が少ないこと、鉄器用の砥石が多数出土していることから、当時の道具の主体は鉄器だったと考えられます。古津八幡山遺跡と同時代の新潟県内出土の弥生時代から古墳時代前期の鉄器を集結して紹介するとともに、当時貴重品だった鉄器が新潟県にどのようなもたらされたのかを解明するために、日本海を介した朝鮮半島からの鉄の流通ルートを考えます。



料 金	入場無料
主 催 お問合せ	新潟市文化財センター 025-378-0480

お雛さまと肅祭寶

3/2(土)~4/14(日) NSG美術館
10:30~18:00

(入館は17:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)
NSG美術館の所蔵している肅祭寶コレクションと、市内の所有者よりお借りした雛人形を展示します。肅祭寶は、仏教の知識や中国の古典漢詩に造詣が深く、一度見たら忘れられないユニークな画風を構築し人気を博しました。どこの会派にも属さず孤高の異色日本画家と言われた肅祭寶の世界観に触れてみてください。



仙童三昧

料 金	一般 300円 大学生 200円 高校生以下 無料
主 催 お問合せ	NSG美術館 025-378-3773

ニューヨークが生んだ伝説
写真家 ソール・ライター展

3/9(土)~5/9(木) 新潟県立万代島美術館
10:00~18:00

(券売は17:30まで) 3/11、25、4/8、22休館
日常の中で見過ごされがちな一瞬のきらめきを天性の色彩感覚で捉える伝説の写真家ソール・ライター。彼は作品集「Early Color」により、83歳にして「カラー写真のパイオニア」として一躍注目を浴びる存在になりました。この機会をどうぞお見逃しなく!



(足跡) 1950年頃 ソール・ライター財団蔵 ©Saul Leiter Foundation

関連イベント	講演会「ソール・ライターと1950年代アメリカ文化」 3/9(土) 14:00 NICOプラザ会議室(朱鷺メッセ11F) 講師:柴田元孝氏(東京大学名誉教授/翻訳家/アメリカ文学研究者)参加無料 申込不要(先着200席) トーク「ソール・ライター/写真/ニューヨーク」 3/24(日) 15:00 要観覧券 申込不要 出演:平岡至氏(写真家)、吉原悠博氏(美術家/写真家)、佐藤正子氏(本展企画者)
料 金	一般 1,100円 高校・大学生 900円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟県立万代島美術館 025-290-6655

追悼 捧賢一が愛した作品展Part.1

4/6(土)~6/2(日) 雪梁舎美術館
9:30~17:00

月曜休館(祝日の場合はその翌日)
雪梁舎美術館は、三条市出身の実業家・捧賢一(昨年5月に逝去)が、1993年若手芸術家の育成や文化振興をはかる目的で設立しました。捧の一周忌を迎えるにあたり、長い年月をかけて収集した作品の中から、特に想い入れが強く意欲的に求めた作品を紹介します。棟方志功の版画や、人間国宝・佐々木象堂の銅金、旧吉田町出身の横山操の日本画など、物故作家を中心にお届けします。どうぞお楽しみください。



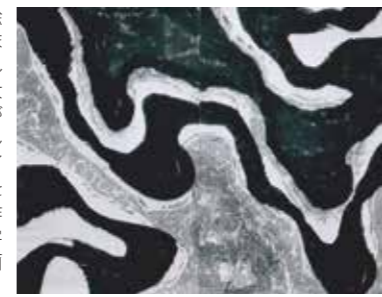
棟方志功作《清姫妃の掬》

料 金	一般 500円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	雪梁舎美術館 025-377-1888

小林五空 喜寿個展「墨の魅力・黒の力」
墨による抽象絵画と書の超大型作品群

5/31(金)~6/2(日) ミュゼ雪小町
10:00~18:00 (最終日は16:00まで)

東洋独自の墨表現を抽象絵画と書の大画面で展開します。そのサイズは最大でなんと12m×3mにもなります。大型絵画12点と大型書6点をミュゼ雪小町の全室を使用して展示され、「生・生命」をメインテーマに躍動感ある表現を試みます。書の大型刻字作品、カタカナのイロハ文字(48字)に着想した墨色版画も展示します。



料 金	入場無料
お問合せ	上越市「ミュゼ雪小町」025-521-4025

【主催】小林五空

追悼水木しげる ゲゲゲの人生展

3/23(土)~6/2(日) 新潟市新津美術館
10:00~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日) ただし、4/15、5/27は開館

日本を代表する漫画家・水木しげるは、93歳で「あの世」へと旅立ちました。激動の時代を生き抜いたその生涯は、漫画家としてだけでなく、妖怪研究者としても高く評価され、戦争体験や数々の「名言」にも注目が集まりました。本展は、水木プロダクションの全面的な協力により、漫画家の枠を超えた表現者・水木しげるが遺したものを振り返り、その人間像に迫ります。



水木しげるとその作品たち(II) 2010年頃 ©水木プロダクション

関連イベント	ギャラリートーク 3/31(日)、4/28(日)、5/26(日) 各日14:00~ 要観覧券 申込不要
料 金	一般 1,100円 高校・大学生 500円 中学生以下 無料
お問合せ	新潟市新津美術館 0250-25-1300

【主催】ゲゲゲの人生展新潟展実行委員会、新潟日報社、UX新潟テレビ21、朝日新聞社

「浮世絵でみる!お化け図鑑」

4/20(土)~6/2(日) 新潟県立歴史博物館
9:30~17:00

(券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)
幕末期に起こったお化けブーム。葛飾北斎や歌川国芳ら、浮世絵師によって姿を与えられたお化けは千差万別に描かれ、恐ろしくおどろおどろしいものからユーモラスで面白いものまで多種多様です。個性豊かなお化けや妖怪たちがくり出す奇々怪々な世界をお楽しみください。



歌川国芳「五拾三次之内 猫の怪」/中右コレクション

関連イベント	記念講演会 5/19(日) 13:30 定員150名 要申込 講師:香川雅信氏(兵庫県立歴史博物館学芸課長)
料 金	一般 820円 高校・大学生 500円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟県立歴史博物館 0258-47-6130

花ごよみ — 雪里の季節の彩 —

6/30(日)まで 十日町市立里山科学館
越後松之山「森の学校」キョロロ
9:00~17:00

(2月は16:00まで 最終入館は閉館30分前)
火曜(祝日の場合はその翌日)、3/22休館
十日町市で市民の皆さんの協力により、12年に渡って継続してきた市民協働調査「花ごよみ調査」。今までに500種以上の植物の開花情報や花にまつわる伝統的知見を収集してきました。その成果を踏まえ、「花ごよみ」をテーマに、雪国特有の様々な植物を参加型展示やクイズを交えて紹介します。この機会に里山の花々の生態に触れてみませんか。



マルバマンサク(早春)



リンドウ(秋)

料 金	一般 500円 小・中・高校生 300円 未就学児 無料
主 催 お問合せ	十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ 025-595-8311

子どもとワクワク・ドキドキを 親子で楽しもう

コンサート

東京佼成ウインドオーケストラin十日町 親子で楽しめる0歳からのおでかけコンサート

3/10(日) 11:15 越後妻有文化ホール「段十ろう」
子どもと一緒にコンサートに行きたいけど、じっとしてられないし、泣いたらどうしよう…。そんな心配いりません。動いても、歌ってもOK!途中の入退場も可能です!リズムに合わせて、ここからだで名曲の数々を楽しみましょう。
出演:東京佼成ウインドオーケストラ、鈴木織衛(指揮)
曲目:J.P.スーザ/ワシントンポスト、D.カパレフスキー/道化師より「プロローグ」「ギャロップ」「ワルツ」「エピソード」、近藤浩治/スーパーマリオブラザーズ、ディズニーメドレー 他

料金
全席自由
一般 1,500円(当日500円増)
小学生以下 500円
※未就学児1名以上鑑賞のみ無料
主催・お問合せ
越後妻有文化ホール「段十ろう」
025-757-5011



© Atsushi Yokota

イベントなど

春の特別展「恐竜展 ～科学が解き明かす恐竜のすがた～」

3/16(土)～5/12(日) 新潟県立自然科学館
9:30～16:30 (土日祝は17:00まで 最終入館は閉館30分前) 月曜休館

恐竜に命を吹き込む作業、一復元をテーマに、「科学が解き明かした恐竜のすがた」を様々な標本、模型などを通して紹介します。ティラノサウルス(愛称:ワイレックス)の全身骨格は全高約3.7メートルの大迫力!お楽しみに!!



復元画:月本佳代美

料金
一般 1,570円 中学生以下 800円 未就学児 無料 ※入館券付き特別展入場券
お問合せ
新潟県立自然科学館 025-283-3331 TeNYチケット専用ダイヤル 025-281-8000
【主催】新潟県立自然科学館、TeNYテレビ新潟、読売新聞社

コンサート

第1回上越マーチングバンド公演

3/31(日) 14:00 上越文化会館 大ホール
平成30年5月に結成された上越マーチングバンドの初公演!!!
出演:上越マーチングバンド、上越プレイバックホース、ミュージックレインボー
曲目:さんぽ/となりのトトロより、オーバーザレインボー/オズの魔法使いより、ヤングマン/合同演奏

料金
入場無料(要入場整理券)
主催・お問合せ
上越文化会館
025-522-8800



新潟県文化振興財団 2019年度事業のご案内

県内各地のホールなどと共催で以下の公演を実施する予定です。
詳細はカルチャーにいがたvol.99(5月下旬発行)でお知らせします。

鼓童 交流公演2019

4/22(月) 発売開始

太鼓の魅力が五感で感じられる舞台。太鼓体験コーナーや楽しいトークが人気!
6/30(日) 14:00
燕市文化会館
出演:草洋介、地代純、北林玲央、吉田航大、三枝晴太、山脇千栄、渡辺ちひろ、小野田太陽、中谷憧(予定)
演目:千里馬、大太鼓、屋台囃子 他



料金
全席自由 一般 2,000円 中学生以下 500円(当日各500円増)
※5歳未満の入場はご遠慮ください。

はじめての落語

5/11(土) 発売開始

H30年3月芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞した、桃月庵白酒師匠と、上越市出身の瀧川鯉橋師匠による、『落語』がさらに面白くなる講座つき落語公演。
7/6(土) 13:30
はーとびあ中郷
出演:桃月庵白酒、瀧川鯉橋、林家はな平、稲葉千秋(お囃子) 他



料金
全席自由 一般 2,000円 中学生以下 500円(当日各500円増)
※5歳未満の入場はご遠慮ください。

奥村愛ヴァイオリン・カルテット

新潟出身の奥村愛と鍵富弦太郎、新日本フィルコンサートマスター西江辰郎と、NHK交響楽団第1ヴァイオリン次席奏者の大宮臨太郎によるヴァイオリン・カルテット。



7/21(日)
柏崎市文化会館
アルフォーレ
※詳しくはP3をご覧ください。

東京バレエ団 子どものためのバレエ 『ドン・キホーテの夢』

子どもたちが初めて見ても楽しめるバレエとして、見どころを凝縮したバレエ鑑賞デビューに最適な公演です。4歳から入場できます。ご家族揃ってお楽しみください!



photo:Kiyonori Hasegawa

8/17(土)
見附市文化ホール
アルカディア

野村萬斎による はじめての狂言

野村萬斎がお送りする狂言の真髄。入門講座では狂言の舞台や装束、約束事を分かりやすく解説。



8/18(日)
糸魚川市民会館

親子で歌いごう! 日本の歌百選ファミリーコンサート

「おかあさんといっしょ」16代目うたのお姉さん神崎ゆう子が出演。遊び歌や親子クイズなど親子で楽しめるコンサート。0才からご入場いただけます。



8/25(日)
長岡市寺泊文化センター

劇団四季ミュージカル『エビータ』

アンドリュウ・ロイド＝ウェバーの最高傑作『エビータ』12年ぶりの全国公演。アルゼンチンの片田舎に私生児として生まれた少女エバ。彼女が大統領夫人となり、33歳でその生涯を終えるまでの一生を描いた物語。



撮影:山之上雅信 過去の公演より

9/29(日)
上越文化会館

プラハ・チェロ・カルテット

昨年、十日町&柏崎公演は喝采の渦!あの凄腕たちが胎内へ!クラシックや映画の名曲から、ボヘミアン・ラプソディなどのヒット・ポップスまで。ダイナミックでユーモアに溢れるお洒落なパフォーマンスをお楽しみに。



10/12(土)
胎内市産業文化会館

劇団四季ファミリーミュージカル 『はだかの王様』

アンデルセンと、寺山修司と、劇団四季のミュージカル! 見えない服が、あなたの心を見せてくれる。おしゃれに夢中な王様がつくらせる不思議な服をめぐって繰り広げられる物語は「本当のことを言う勇氣」の大切さを教えてください。

11/3(日・祝)
南魚沼市民会館



撮影:阿部卓仁 前公演より

新潟ダンスの祭典

高校ダンス部の強豪校が新潟に集結!
愛知・光ヶ丘女子高校/神奈川・大和高校/大阪・同志社香里高校/新潟清心女子高校/新潟明訓高校/新潟南高校/新潟中央高校/ゲスト・平原慎太郎 (OrganWorks)

11/17(日)
新潟県民会館



新潟清心女子高校

マイタウン・コンサート 2019

新潟県出身・在住の演奏家によるお話付きの楽しいコンサートを県内各地にお届けします!
どうぞお楽しみください。

6/28(金) 19:00
津南町文化センター

自由にきらめく箏の音色と、爽快に駆け抜ける尺八の音色。和と洋の垣根を超え、伝統の枠を超えた、躍動感あふれるスペシャルコラボレーションをご体感ください。

出演:薫風之音(箏、尺八)
川崎祥子(ピアノ)
藤島玲子(パーカッション)



料金 全席自由 500円 中学生以下 無料

お問合せ 津南町文化センター 025-765-3134

7/12(金) 19:00

アミューズメント佐渡 はまなすホール

フルートとヴァイオリン、そしてチェンバロが織りなす優雅な旋律。バロック時代の名曲を織り交ぜてお届けします。どうぞお楽しみに。

出演:市橋靖子(フルート)、佐々木友子(ヴァイオリン)、笠原恒則(チェンバロ)



料金 全席自由 500円 中学生以下 無料

お問合せ アミューズメント佐渡 0259-52-2001

ふれあいホッとコンサート

ホールまで足を運ぶことが困難な方たちにも身近に音楽を楽しんでもらえるよう、各施設にアーティストが向かい演奏を行うアウトリーコンサート。2019年度は県内各地の特別養護老人ホーム5カ所と病院4カ所、特別支援学校2カ所にて開催予定です。県民の皆さまに音楽をもっと身近に、もっと気軽に楽しんでいただけるよう、今後さまざまな活動を継続していきます。



6/6(水) 胎内市特別養護老人ホームとさか 奥村愛(ヴァイオリン)、山宮るり子(ハープ)

Culture
Niigata

- 発行回数 年4回(5月、8月、11月、2月)
- 発行部数 15,000部
- 配布先 市町村、公民館、文化施設、金融機関、大学等

●発行 公益財団法人 新潟県文化振興財団
TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818
E-mail jigyou@niigata-bunka.jp WEB http://www.niigata-bunka.jp
Address 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-13

「カルチャーにいがた」送付について

「カルチャーにいがた」をご希望の方には郵送料費にてお送りしています。住所、氏名、希望する部数を明記の上、返信用切手(140円/1冊)を添えて、新潟県文化振興財団までお申し込みください。複数冊ご希望の場合はお問い合わせください。

— シリーズ —

URAKATA 裏を語る

舞台裏から、芸術の新たな魅力を発信!

舞台をつくっているのはアーティストだけではない。音楽・文化・芸術をもっと身近に感じてもらうためここでは裏方で活躍する人々をご紹介します。第十五回目は歌舞伎の「床山」の仕事について東京鴨治床山株式会社の鴨治忠司さんに話を聞いた。



東京鴨治床山株式会社
鴨治 忠司

歌舞伎の役に合う髪型を作るのが床山の仕事

歌舞伎と聞くと少々敷居が高いイメージを持つ人も多いが、もともと江戸の庶民文化から誕生したもので当時の人にとっては身近なエンターテインメント。以後、型や様式などを頑なに守りつつ、常に新しいことにもチャレンジするという“かぶく”精神も伝統として貫いてきた。だからこそ400年経った今なお歌舞伎は多くの人に愛されている。

歌舞伎役者たちが舞台に立つためには衣裳やかつらを身に纏い、歌舞伎の化粧をする必要がある。

床山とはそのかつらの部分を担う職人のこと。演目や役柄が決まると、床山はかつら師と役者の三者でかつら合わせを行い、どんな形のかつらにするかを決める。形が決まってまず、作業を開始するのはかつら師で、銅版やアルミニウムの板を切ったり叩いたりして役者の頭の形をした土台を作る。そこに散バラ髪を植毛した状態にする。そして、それを役者さんの役柄を理解し、その性根を表現するように結び上げ、飾り付けなどを行うのが床山である。

「役者さんによって体型、顔立ちが違いますし、役によって衣裳も違います。それらを配慮しつつ、演技のしやすさ、動きやすさなども考慮してかつらを結び上げていきます。本番の日のかつらの掛け外しから、結び直しなども行います。例えば、舞台上で切腹した途端、パツと髪がばらけるといった演出

があった場合、その公演中は毎日髪を結び直すこととなります。とにかくかつらのことでストレスを感じる事がなく、気持ちよく役者さんに舞台に立っていただくことが、私たちの務めです」と語るのは床山の鴨治忠司さん。この道30年以上のベテランだ。

祖父の代から床山 生活の中に床山の匂い

東京都港区で床山を営む家に生まれ育った鴨治さん。「祖父が立ち上げたのが東京鴨治床山株式会社です。幼い頃から祖父のところには内弟子の職人さんが何人かいて遊んでもらったり、たまに歌舞伎座の楽屋に行かせてもらったり。そのせいか何となく生活の中に床山の匂いみたいなものがありました」

中学生の頃から芝居に興味を持ち、役者としてテレビドラマシリーズ「3年B組金八先生」に出演したこともあったが、次第に父親の跡を継いでみようと思うようになり、高校卒業と同時に床山の道へ進んだ。

床山の技術が学べるような学校はない。すべて先輩たちに教えてもらい、仕事を覚えていく世界だ。そのため、新人の頃は床山の部屋の掃除、お茶くみなど雑用をこなした。その間に役者はもちろん、衣裳、かつら師など他の職種の職人の名も覚えた。そんな中で、時間を作って先輩からかつらのかぶ

役の性根を表現するように結い上げる 気持ち良く役者を舞台へ 送り出すのが床山の務め

歌舞伎座内作業場の様子 協力／松竹(株)

せ方、外し方などを教えてもらい、技術を身につけていったと言う。

「新人は、名題下と言っている大勢で立ち回りなどを行う役者さんのかつらの掛け外しから教わります。名題下のかつらはわりとシンプルなので基本を身につけるのに適しているからです」

また、歌舞伎は荒事、時代物、世話物と分かれていてそれぞれの登場人物、例えば、町人が滑稽な3枚目といった役柄もかつらで表現している。その役が、善人が悪人によってかつらの形も見れば分かるというように工夫されている。全部合わせると800~1000種類ぐらいはあるそうだが、その種類をすべて把握することも床山の大事な仕事だ。

芝翫丈と苦楽をともに することができた喜び

入社して比較的早い段階から戦力として仕事をしていた鴨治さんは26歳の時、父親から現在の中村芝翫丈(当時は中村橋之助丈)の上置きを務めるように言われる。

「上置きとはその役者さんの専任になることです。その頃から橋之助丈も徐々に責任のあるお役を任されることが増え始めていて、いずれは大看板になる役者さんだから専属の床山を付けた方がいいということで、年齢に近い私に白羽の矢が立ちました」

鴨治さんは自身の床山人生において、橋之助時代から芝翫丈の上置きになったことが一番大きな出来事だったと振り返る。

「亡き中村勘三郎丈が立ち上げたコクーン歌舞伎に出演された際も一緒にさせていただいたのも貴重な経験でしたし、地方巡業でいろんなところへ同行させていただきました。また先代芝翫丈の頭を担当させていただきましたのも貴重な経験でした。橋之助時代からずっと苦楽を共にさせていただきましたことは私の財産です」。

特に忘れられないのが2016年から1年かけて実施した八代目中村芝翫襲名披露興行。3人の息子たちもそれぞれ橋之助、福之助、歌之助を襲名し、家族4名同時襲名ということで当時大きな話題になった。

「大きな名跡を名乗ることの責任の重大さと、ご息も襲名ということで芝翫丈には並々ならぬ緊張感がありました。そんな中、私にできることは床山として失敗がないようにすることのみでした」

また、毎月25日間、芝翫丈と同じ芝居に携わることができることも醍醐味なのと言う。

「初日はこんな感じのかつらでスタートしたけれど、最終的にはこんな風になったねというくらい、意見を出し合って創意工夫を重ねることもありますし、今回のこの演目はこんな感じでやったけど、次回はこんな風にやってみよう話し合い、それを実現できるのも楽しい。また、橋之助時代に演じられたお役を芝翫になられてから勤められた時にまた昔とは違う雰囲気や風情だったりするんです。それを間近で見られるのもうれしい。床山冥利に尽きますね」

新しい歌舞伎にも対応できる センスと技術を身につけたい

静かに、日々進化し続ける歌舞伎。ここにきて床山にも新たな課題が生まれている。ワンピースなどアニメを題材とした演目が増えてきたことだ。

「キャラクターを強く打ち出した、フィギュアがそのまま舞台に立ったような役のかつらも作れるようにならないといけません。そのための勉強をしたいと思っていますところですよ」とのこと。「何年経っても新しいことに挑戦できるのもこの仕事の魅力です」

後継者を育てていくことも大事だ。現在、鴨治さんの所属する東京鴨治床山には、29名の床山がいる。名だたる歌舞伎役者の上置きを務める床山がズラリと揃っているが、そういった先人に続く若手を育てていくことも考えていかなければいけない。歌舞伎という伝統の存続にも関わってくるからだ。とはいえ、冒険でも触れたとおり、床山の学校はない。目指すなら鴨治床山のような会社に入ることが先決だが、同業者は他3社のみ。非常に狭き門ではある。

「歌舞伎が好きということでもいいし、美容師だけ日本髪に興味があるとか、ものづくりが好きで手先を動かすのが得意だということでもいい。誰でも目指すことはできるんですよ」

次号-シリーズ-URAKATAは芸術監督にスポットをあてます。



東京鴨治床山株式会社 鴨治 忠司

1966年東京都生まれ。高校卒業後、東京鴨治床山(株)へ入社。26歳から中村橋之助(現、八代目芝翫)丈の担当となる。以後、東京成駒屋ご家族(福助丈、児太郎丈)の立役の頭を受け持っている。中学生の頃は俳優に憧れ、「3年B組金八先生」第2シリーズに出演したことも。学習発表会で特攻服を着て校長先生に叱られた生徒役だった。「妻が新潟出身ということもあって新潟は第2の故郷です」。

公演情報

「松竹大歌舞伎」
7/17(水)新潟県民会館
※詳しくはP6をご覧ください。



©松竹